

## 人間味あふれる先生との出会い

小学四年の娘が、友達からいじめられたと言う。学校の帰り道、下校班の一人の子に突き飛ばされて、肘を擦りむいて帰ってきた。他にも背後からランドセルを開けられたり、くすくす笑われるとか。

親としては黙っておれないと学校に電話した。わが家はその半年ほど前に県外から引っ越して来たばかりで、学校の様子もわからず不安だったのだ。

先生は、その日に家まで来てくださった。そして「任せてください」と請け合って色々な対策を考えてくださった。

先生が帰られた後、娘が言った。

「あの先生、いつも大声で怒鳴ってすごい怒るこわい先生なんだよ」

びっくりした。私に話してくれていた時の先生は、話の面白い温かな先生だったからだ。先生のおかげでいじめの問題は見事解決した。

学年末のお別れ会の後、娘が「あの先生、ギターを弾きながら歌を歌ってくれたよ！」と報告してくれた。そんな特技もあったんですね、先生！とまた、びっくりした。

温かくて、厳しくて、ユニーク。すっかりそれが私にとっての「宮崎の先生」の印象になった、先生との出会いだった。

引っ越してくる前の地域の先生方と何かが違う、と感ずることがある。それは多分、とっても「人間らしい」と言うことなのだと思う。

怒ったり、心配したり、いつも本気でしてくれる。そんな人間としての魅力あふれる宮崎の先生方、いつも子供達がお世話になっています。

これからもよろしくお願ひいたします！

東峯 有見香  
(一般)